

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

学校関係者評価の基本方針

企業・業界団体・学術機関の有識者等との連携により、各専門分野における知見を活かして各学科の教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を教育活動及びその他の学校運営の改善に活かしていく。

開催日 令和7年6月23日（月）15時00分～16時30分

場 所 南海福祉看護専門学校 zoom開催

評価項目	現状・達成目標	課題と今後の改善方策	学校関係者の評価・提言
<p>(1) 教育理念・目標</p> <p>学校の理念・目的・育人材像は定められているか。</p>	<p>「人間(ひと)を大切に」という教育理念のもとに、</p> <p>①勤勉であること、 ②人・ものを大切にする心をもつこと ③全ての人に明るく対応できること ④基本的生活習慣を正しく確立すること ⑤公共心、協調性を身につけること ⑥目的意識・向上心をもち積極的であること</p> <p>の6つの教育目標を掲げている。</p>	<p>課題</p> <p>学生は教育理念や目標を知り、遂行しようとする自覚が不足している。教員間での指導方法を共有して認識を統一化する。</p> <p>改善策</p> <p>教育理念を身につけるための指導観点を協議して取り組む。</p>	<p>○ 大学では保護者懇談会を学校や地方で開催している。授業や学生生活、就職について不安をもって参加される保護者が多いので、参加者が少なくても開催していくことが大事である。</p> <p>○ 学生が教育目標を意識しながら過ごすために、社会人基礎力・年間の自己目標を記載させて定期的に自己評価をする時間を設けてはどうか。</p>
<p>(2) 学校運営</p> <p>目的等に沿った運営方針が策定されているか。</p>	<p>期初に年間事業計画、各学科及び各部の活動計画を作成。 その計画を運営会議や職員会議、その他の会議体にて進捗等を確認。</p>	<p>課題</p> <p>業務の簡素化。 コンプライアンス意識を高める。</p> <p>改善策</p> <p>よく似た書類の一元化。 コンプライアンス研修の実施。</p>	<p>○ コンプライアンスは学習の積み重ねによって身につくので、断続的に研修をすることが大事である。</p> <p>○ コンプライアンスを意識して行動できるよう、日々の行動計画を明確に遂行する。</p> <p>○ 運営方針は、期初に明確であるので、進捗管理を確実に行っているか。</p>
<p>(3) 教育活動</p> <p>教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。</p>	<p>各学科、規程に則り、教育課程を定めており、選択科目や独自科目において本校の特色をだしている。 3学科共通の多職種連携教育は段階的に発展させて継続している。</p>	<p>課題</p> <p>基礎学力の差、理解力の低下、精神的な問題等様々な学生がいる中、授業進度や学習指導が難しい。</p> <p>改善策</p> <p>複数教員での授業や外部専門家の活用、フィードバックシートの使用など、学生の多様なニーズに対応するため、教員の負担を考慮しつつ、効果的な支援方法を模索していく。</p>	<p>○ 複数教員の配置は理想であるが難しい。理解力別で授業ができる等の方法はある。外部のソーシャルワーカーに依頼するのも良いのでは。</p> <p>○ 授業の振り返りシートを使用し、スモールステップではあるが確認するよう取り組んでいる。授業に追いつけない学生に気付くよう努めている。障害学生支援センターと連携し、合理的配慮が必要な学生はオンライン授業で対応している。学生の多様化に合わせて、できる限り提供するよう努めている。</p> <p>○ 高校では発達障害に対して、カウンセリングシートを作成し個別の支援計画を行っている。精神的に不安定な生徒には、外部の専門家（府で設置しているスクールカウンセラー）に来てもらっている。授業では、少人数制で先生の指導が行き届くよう、数学など特定科目に絞り行っている。また放課後に補修も行っている。</p>
<p>(4) 学修成果</p> <p>就職率の向上が図られているか。 退学率の低減が図られているか。</p>	<p>学校運営組織、キャリア支援部に各学科の教員が担当として編成している。各学科会議にて連携し本校学生のキャリア形成と就職活動を推進及び支援をしている。</p>	<p>課題</p> <p>卒業時アンケートを就職指導に活かしているが成果の有無が分からない。 就職に関するニーズや意識が変化し、対応や状況把握が難しい。 退学者の低減。</p>	<p>○ 障害福祉サービス事業所を運営しており、人相手の仕事なので対人でサポートを行っている。一方でICT, AIの活用、チャットGPTで記録をまとめるプログラムにも取り組み、推奨している。就職指導や卒業後の動向に関しても活用できるのではないか。</p> <p>○ 退学については対応に苦慮しており、学生が送る様々なサインに反応できるようにしている。教員間で連携・共有し、単位が未修得になる様な学生については、保護者へ連絡をして情報を共有するよう努めている。実習や授業で退学を考える学生の中には、友達関係、学友の力で学業が続けられる事例もある。</p>

		<p>改善策 卒業生の動向を掌握するための方法や仕組みを検討する。学生ニーズや社会状況に応じた就職支援や就職指導の効果について学生にアンケートを実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体調不良や精神的な面で休みがちになる生徒に対して、担任や教育相談の部署で共有し、専門家との面談を設定するなど行っている。
<p>(5) 学生支援</p> <p>進路・就職に関する支援体制は整備されているか。</p> <p>卒業生への支援体制はあるか。</p>	<p>クラス担任制による個別指導の実施。学外就職ガイダンスへの押し出し、模擬面接、スーツディ等の実施により、早期の就職意識の高揚を促している。</p>	<p>課題 相談内容の多様化、複雑化。学生対応、保護者との連携について、精神面でも問題を抱える学生が増え、教員の業務が増加。</p> <p>改善策 あかね会の活性化と卒業生との繋がりを強化する方法を検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 就職先施設と学校の教員やキャリア支援部とは密なやり取りができており、学生への情報提供や適切なアドバイスができています。 ○ 卒業生の動向把握の方法としては、実習先施設であれば実習依頼の際に在職しているかを確認する良い方法だと思う。 ○ 本校の卒業生が大阪府下の福祉施設に多数おり、福祉団体の集会でも卒業生が意見交換している。この機会を本校の卒業生組織である、あかね会に繋げていけばいいのではないかと。
<p>(6) 教育環境</p> <p>施設整備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。</p>	<p>教育上必要な機器・設備については購入及び修繕を随時行い整備する。</p> <p>災害対策マニュアルの整備と対応する組織体制。</p>	<p>課題 施設・設備の老朽化、情報処理室のパソコン、Wi-Fi環境等インフラの不具合。</p> <p>改善策 老朽化部分の修繕を順次整備する。情報処理室の定期的な点検を行う。教職員のIT知識の向上に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期的な点検を実施し、購入時期や使用状況などを把握して、ある程度不具合になるであろう予測を立てる必要がある。 ○ 地域行政の災害対策と連携させて、地域一体となって取り組むことが大事。
<p>(7) 学生の受入れ募集</p> <p>学生募集活動は、適正に行われているか。</p>	<p>広報活動は教職員全員で実施している。</p> <p>カリキュラムの内容はパンフレットやDMチラシに掲載しているが、伝えられているかが分からない。</p>	<p>課題 募集活動は学校全体の課題。広報部を中心に活動しているが、他の教職員の関与が弱い。</p> <p>改善策 カリキュラムの魅力や学生生活の魅力をより効果的に発信する方法を検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資格取得や目的意識を持って学校を選んでいる人にとっては、カリキュラムの内容がパンフレットに反映されていれば魅力的なものになる。 ○ カリキュラムの魅力だけでなく、学生が入学してどんな2年間を過ごすのかイメージできることが良いと思う。自分の将来が思い描けることが重要で、オープンキャンパスで在校生の力を活かし、高校生に学生生活のイメージを伝える工夫をする。
<p>(8) 財務</p> <p>中長期的に財務基盤は安定しているといえるか。</p>	<p>18歳人口の減少により3学科ともに年々入学志願者が減ってきた。物価も高騰が続き、収入減と支出増の構造が明確になっている。</p>	<p>課題 学生数の増員と経費削減。</p> <p>改善策 入学定員の増減や新しい学科設置等を検討。削減できる経費を掌握する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学科の再編成と入学定員を適正な人数に整備する必要がある。 ○ 外国人留学生の需要を掌握し、受け入れる体制を検討していくことも財務状況の改善につながる。 ○ 物価高騰により、学費の値上げを検討する必要がある。
<p>(9) 法令等の遵守</p> <p>法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。</p>	<p>学校教育法、専修学校設置基準、各学科（養成施設）に関する法令及び規定等に基づき適正な運営を行っている。</p> <p>個人情報保護法の遵守</p>	<p>課題 ハラスメントが発生しない環境を整備する。個人情報の管理、漏洩等。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学生へのハラスメントが発生しないよう研修を行うことに加えて、カスハラを受けないよう、定義と対処方法を学校として決めて周知徹底をする必要がある。 ○ コンプライアンスの正しい知識と理解が得られるよう外部講師を招聘して研修を実施すると有効である。

		<div data-bbox="786 145 916 188" data-label="Section-Header"> <p>改善策</p> </div> <p data-bbox="786 188 1182 245">繰り返し研修を行い、教職員間で注意し合える関係性を構築する。</p>	<p data-bbox="1200 145 2145 202">○ 文科省や厚労省から発信される情報は、大阪府私学課から管轄の学校へ発信される。その内容を教職員で共有して適切な対応を図ること。</p>
<p data-bbox="73 264 353 288">(10) 社会貢献・地域貢献</p>	<p data-bbox="365 264 757 322">地域の福祉施設にて講演等行っている。</p>	<div data-bbox="786 264 916 308" data-label="Section-Header"> <p>課題</p> </div> <p data-bbox="786 308 1182 419">ボランティアに参加する学生が少ない。本校が地域で社会資源として認識してもらえる取り組みが必要。</p> <div data-bbox="786 440 916 483" data-label="Section-Header"> <p>改善策</p> </div> <p data-bbox="786 483 1182 568">地域貢献活動の一環として、地域の自治会と連携し、学生のボランティア参加を促進する。</p>	<p data-bbox="1200 264 2069 288">○ 地域の世代間交流を行っている。学生にボランティアとして参加して欲しい。</p> <p data-bbox="1200 308 1778 331">○ 清掃ボランティアは地域が活性化して良いのでは。</p> <p data-bbox="1200 351 1778 375">○ 盆踊りなど、地域行事での運営参加は貴重である。</p>